



第2回 素敵な北の道づくりセミナー 「沿道景観の評価・向上手法について」を開催しました

地域景観ユニット

平成18年12月20日(木)に当所主催、北海道開発局の共催により、第2回 素敵な北の道づくりセミナー「沿道景観の評価・向上手法について」を開催しました(写真1)。

シニックバイウェイ北海道の本格展開や景観緑三法の施行など、景観・観光・情報等に関する研究ニーズの高まりから、本年4月の寒地土木研究所の発足に伴い、地域景観ユニットが新たに設置されました。このユニットでは、具体的には、1)美しい沿道景観や快適なツーリング環境の創出、2)ドライブ観光を支援する情報提供に関する研究を進めています。

今回のセミナーでは、北海道工業大学の石田助教授をお招きし、「道路のシーケンス景観及び積雪期における道路景観の定量的評価や、道路景観の向上を目指した集約サインの配置に関する研究」などについて、ご講演頂きました(写真2)。

続いて、当ユニットより、「道路雪氷対策と美しい沿道景観の両立、及び道路景観に関する最近の動き」などについて話題提供を行いました。

なお、今回のセミナーには、北海道開発局、NEXCO東日本、北海道庁などから、約60名の参加をいただき、予定時間を超過するほど活発な議論が交わされました。年末のお忙しい時期ではありましたが、ご参加いただき、誠にありがとうございました。



写真1 セミナーの開催状況

■議事次第

開催日時：平成18年12月20日(水)

13時30分～16時20分

開催場所：寒地土木研究所 1階講堂

対象者：開発局をはじめとする道路行政関係者

「北海道における道路景観の定量的評価手法について」

～シニックバイウェイルートにおける

研究事例の紹介～

北海道工業大学 工学部社会基盤工学科

助教授 石田 真二

「道路雪氷対策と美しい沿道景観の両立について」

寒地土木研究所

地域景観ユニットリーダー 加治屋安彦

地域景観ユニット主任研究員 三原 慎弘

地域景観ユニット研究員 三好 達夫

「道路景観に関する最近の話題」

寒地土木研究所

地域景観ユニット主任研究員 松田 泰明

(文責：松島 哲郎)



写真2 石田助教授の講演状況